

令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24時間365日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

懸案であった職員体制の充実は、10月より常勤職員を1名増員することで、事務的基盤の強化を図ることができた。また、事業面でも概ね当初の予定通り実施することができた。ただし、新型コロナウイルスの流行により3月は事業の実施に様々な影響は避けられず、感染予防に最大限の注意を払いつつニーズに応えるよう努めた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

① 障害児・者の休日支援事業

支出額 9,369千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。みやき町により新築された占有の建物での実施となり、環境が大きく改善された。また、新型コロナウイルスの影響で3月3日より休校になったことに伴い、朝から受け入れる緊急対応を行った。

実施日：開所日数 285日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00（8:30～18:00の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校放課後児童クラブゆう

スタッフ数：(述ベ) 1,458 名

対象者：中原特別支援学校に在籍した児童・生徒

対象人数：(述ベ) 1,967 名

B. 障害当事者と家族の余暇支援プログラム

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、屋内で楽しめるプログラムによって、仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。また、2月には北九州ロボケアセンターのご協力により、リハビリロボット HAL の体験を行った。

実施日：動作法 10 日

実施場所：さんかく

スタッフ数：

(延ベ) 講師 22 名、ボランティア 60 名、事務局 10 名

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：(延ベ) 利用者・家族 73 組

② 障害者の就労に関する事業

支出額 105 千円

リサイクルショップくるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。

実施日：通年（イベント 2 回）

実施場所：旭まちづくり推進センター、及び事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 1 名、ボランティア 10 名

対象者：(延ベ) 障害のある人や関係者 400 人

③ 福祉に関する相談支援事業

支出額 11 千円

A. コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：10日（第2水曜日）11:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：（通年）ボランティア1名、事務局2名

対象者：（延べ）一般市民97名

B. 個別相談

福祉・障害等に関する相談について、随時面談を行い支援した。

実施日：6回

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：講師1名、事務局1名

対象者：（延べ）一般市民6名

④ 障害児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤ 健康増進事業

実施なし

⑥ 福祉啓発事業

支出額 412千円

A. 障害に関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障害のある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日：5/17、6/26、11/19、2/13

実施場所：ひかり園、鳥栖市役所、神埼市中央公民館

スタッフ数：（通年）1名

対象者：一般市民

対象人数：（延べ）186名

B. エンパワーメントセミナー事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、

情報交換できる場所とした。会場の改修や天候等の外的要因により、予備日も含めて計3回を中止することとなった。

実施日：令和元年5月～令和2年2月（8回）

※天候・会場都合等による中止あり

実施場所：鳥栖市社会福祉会館、鳥栖市役所

スタッフ数：（延べ）講師30名、ボランティア22名、事務局13名

対象者：（延べ）ぴあCAFE40名、おやCAFE41名、あなたの相談室2名
保育17名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演、交流事業、原稿執筆等を行い、障害や福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

- 2019/05/09 [三養基] 基山町民生委員児童委員協議会 5月定例会
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師
- 2019/06/21 [筑後] 筑後市自立支援協議会全体会
【共に生きる社会に向けて～障害の理解と対応～】*講師
- 2019/09/06 [三養基] みやき町ファミリーサポートセンター提供会員養成講座
【障がいへの理解】*講師
- 2019/11/20 [八女] 社会福祉法人明和会 陽だまりの里（権利擁護研修会）
【誰もが自分らしく暮らせる社会】*講師
- 2019/11/30 [長崎] 心理リハビリテーションの会全国大会 長崎大会
【いつまでも私たちのそばに心理リハビリテーションがあるために
：トレーナーからの提言】*パネリスト
- 2020/02/20 [前原] 前原西中学校（特別支援学級進路学習）
【自立について】*講師

スタッフ数：（通年）1名

対象者：（延べ）会員、福祉関係者、一般市民、等900名

⑦ 障害児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業

支出額 344千円

鳥栖市障害者理解基礎調査

鳥栖市障害者福祉計画・鳥栖市障害福祉計画・鳥栖市障害児福祉計画の基礎データとするための調査を行った。

実施日：通年

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：5名

対象者：一般・鳥栖市在住の20才以上の方

障害・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者

対象人数：一般・1,000名、障害1,000名（無作為抽出）

⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 15,825千円

多機能型事業所さんかく

障害のある子ども達の健やかな成長を支援するために、放課後等デイサービス事業を行った。昨年度までで児童発達支援を廃止し、今年度より常勤職員を出向受け入れで対応するなど、環境が大きく変わったので、年度当初は特に体制の安定に努めた。また、新型コロナウイルスの影響で3月3日より休校になったことに伴い、朝から受け入れる緊急対応を行った。

実施日：月～金曜 14:00～17:00※延長 18:00

土曜 9:00～17:00(9:00～13:00、13:00～17:00の2部制)

長期休暇 9:00～17:00※延長 8:30～18:00

実施場所：さんかく（みやき町白壁）

スタッフ数：職員（述ベ）1,677名、ボランティア（述ベ）9名

対象者：小学校1年生～高校3年生の療育を要する児童・生徒

対象人数：（延ベ）2,435名

⑨ 障害者総合支援法に基づく事業

実施なし

⑩ 上記の事業を達成するために必要な事業

支出額 8千円

市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行うと共に、各種審議会等の委員としての政策提言等を行った。

<委員会、会議等>

ア．佐賀県スポーツ推進審議会（芹田：委員として）

イ．鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議（芹田：委員として）

ウ．鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会（芹田：委員として）

エ．鳥栖市・三養基地域自立支援協議会（構成団体として）

オ．鳥栖市障害者理解促進実行委員会（芹田：委員として）

カ．HAPPYぼうさいアドバイザー会議（芹田：委員として）

<イベント等>

ア. ふれあいスクール（芹田：校長として）

イ. チームA B C D（構成団体として）

(2) その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

① 自動販売機設置事業

支出額 2千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内

スタッフ数：（通年）1名